

第6次大桑村総合計画基本構想（素案）に対して寄せられたご意見等と それに対する大桑村の考え方

令和6年1月15日（月）から2月2日（金）にかけて実施した、第6次大桑村総合計画基本構想（素案）のパブリックコメントに寄せられたご意見に対する大桑村の考え方を示しました。

2名の意見の提出がありましたが、うち1名は検討委員のため、意見の公表は行いません。

また、個別の回答や計画案と直接関連のないご意見への回答は行いません。

ご意見等	村の考え方
第1部序論 第2章村の特性と課題 3. 総合計画策定のためのアンケート調査結果 アンケート結果に先行して、集計結果の考察が記載されているが、読者の先入観を誘導する可能性があり、考察は集計結果の後に記載する必要があるのではないか。	この項目では、今回総合計画を策定するにあたって、参考資料とするために実施したアンケートの概要と結果を記載しています。
第2部基本構想 第1章村の将来像 第2章施策の大綱 本計画の根拠とする第1部第2章3の考察が不明瞭に見えるので、目標と大綱に具体性が見えない。2024年という時代に計画する意義を表現してほしい。P52には「自治体がSDGsを推進するための取り組みの例」を記載しているが、本村における取り組みを具体的に記載する必要があるのではないか。	総合計画の性質上、具体的な施策等を表記するのは難しく、現状や今後の課題を大きく捉えた上で、後に策定する基本計画、実施計画、各個別計画となるにつれて具体施策を絞っていく構造となりますのでご理解をお願いします。 また、SDGsの表記については、現在策定中の「第3部基本計画」へ記載した取り組み毎に、関連する項目を表記する予定です。
その他 委員の皆様には御多忙中恐縮ですが、統計データ活用のために「情報生産者になる」上野千鶴子著ちくま新書をぜひお読みください。大桑村図書館にあります。	ご紹介ありがとうございます。 委員会の中で各委員へ情報提供させていただきます。